



さえずり

新潟県リコーダー教育研究会 会長 小池 純夫
(南魚沼市立塩沢小学校 教頭)

本物に触れる

副会長 嶋見 靖之

昨年10月17日(土)・18日(日)の両日、横浜市で「チャリンジャー・フェスティバル」が開かれました。「バラード・ブルース・リフス」などの作品で知られるイギリスの作曲家、アンドリュー・チャリンジャー氏の作品を一堂に集めて演奏し、そこにチャリンジャー氏自身がレクチャーを加える、という会でした。私は、1日目だけを参観しました。



会は、音楽監督である吉澤実先生が進行と演奏の指揮をして進めていく流れでしたが、途中からチャリンジャー氏自身が指揮をして演奏するようになりました。その演奏には総じて軽快で流れがありました。また、ブレスの位置についての指示が何度もあり、フレーズを重視していることがよく感じられました。レクチャーと合わせて、演奏によってチャリンジャー氏の作曲意図を感じ取るができ、貴重な経験になりました。

チャリンジャー氏はイギリスの方です。普通ならイギリスへ行かなければ、先ほど述べた貴重な経験はできません。チャリンジャー氏を日本に迎えフェスティバルを運営された皆様の取組には意義深いものがあります。

このように「本物に触れる」ことから、人は物事の本質を学んだり感化されたりします。県リコ研は、会発足当初から例会や夏の講習会、コンテストといった事業に、リコーダーの第一線で活躍されている方を講師や審査員に招聘することにこだわってきました。講師から演奏技能や知識を教わることはもちろんですが、演奏を聴かせていただいたり、指揮の下で演奏したり、といった経験を通して、私たちは音楽の楽しさを味わうとともに、子どもたちに向き合い指導できる力を高めることができると思っています。からです。「本物に触れる」仲間の輪がさらに広がることを願っています。

【編集】

私も参加して来ました。正に、嶋見副会長のいう通りでした。チャリンジャー氏の楽譜だけ手に入れて書かれている情報だけを頼りに演奏していた、「今まで」とは、認識が明らかに変わりました。作曲家の「真意」があの中で、本人の口から「語られ」、本人によって「音で表出」されたからです。

音を合わせるための練習方法

～ 合奏指導の手順・ポイント・注意事項 ②

リコーダー奏者・東京リコーダーオーケストラ指揮 金子健治

前回(だいぶ時間が経ってしまいましたが)、“息を合わせることから音合わせを始める”ことの大切さを述べました。今回は、具体的に「アメイジング・グレイス」を使って、息を整えていく練習をしてゆきましょう。この曲は音域が1オクターブ内に納まっており、サミングを使わない、クロス・フィンガリングを使わない、よく知られた旋律である等の理由で、息を安定させ、音程を確認する段階で取り上げるには、ピッタリの曲と言えます。



1. C管(ソプラノ、テナー、グレートバス)はソ、F管(アルト、バス、コントラバス)はドでチューニングをして“基本的な息圧”を確認します。そしてその息圧を意識しながらC管はト長調、F管はハ長調で「アメイジング・グレイス」のメロディーをそれぞれ吹いてみましょう。基準になるソ・ドが頻繁に登場します。“基本的な息圧”で吹けているかが重要です。
2. 一緒に合わせてみましょう。完全音程での平行進行ですので不思議な響きがありますが、全員が同じ運指で動いているため、基準ピッチ・息の乱れ・楽器の音程バランス等がチェックし易いです。
3. 譜例にあるように、各パートに焦点を当てメロディーを練習します。この時、他のパートはロングトーンでメロディーをサポートします。のびのびとした息圧で演奏することが大切ですが、チェックポイントを決め、常にバックのロングトーンと合っているように心がけましょう。

単純な行程ではありますが、毎回同じ行程を繰り返すことで、その日のコンディションが自分自身でしっかり把握でき、また自分の使っている楽器の音程の癖がデータとして蓄積され、無意識に曲の中に反映されるようになります。

音を合わせることは常に付きまとう課題です。しかし、大人でも自分で判断して音を合わせることは簡単なことではありません。小中学生でしたら尚更です。地道な作業になりますが、毎回5分でも10分でも同じメニューを繰り返してみましょう。いつか周りの色々な音が聴こえてくるようになることを信じて。



【編集】

平成24年度－3号に掲載しました、前回のご指導を改めて拝見しました。皆さん実践していますか。今回のご指導と併せて、身に付けましょう。美しい気持ちの良いアンサンブルを楽しむために。

金子先生、原稿をお寄せ下さいまして、ありがとうございます。心から感謝申し上げます。

アメイジング・グレイス

～～ 音合わせのために ～～

アメリカ民謡

Moderato ♩ = 80 ソプラノーロングトーン

Musical score for Soprano Recorder, Alto Recorder, Tenor Recorder, and Bass Recorder. The score is in 3/4 time and features a tempo of Moderato (♩ = 80). The Soprano Recorder part has a melodic line with a triplet of eighth notes in the second measure. The Alto, Tenor, and Bass Recorder parts play a sustained harmonic accompaniment of half notes.

Musical score for Soprano Recorder (S. Rec.), Alto Recorder (A. Rec.), Tenor Recorder (T. Rec.), and Bass Recorder (B. Rec.). The score is in 3/4 time and features a tempo of Moderato (♩ = 80). The Soprano Recorder part has a sustained harmonic accompaniment of half notes. The Alto Recorder part has a melodic line with a triplet of eighth notes in the second measure. The Tenor and Bass Recorder parts play a sustained harmonic accompaniment of half notes.

全日本リコーダー教育研究会 役員総会報告

理事長 樋熊 三津男

昨年、11月27(木)・28日(金)、全日本リコーダー教育研究大会が、北斗市で開催されました。翌29日(土)、役員総会が開かれるとのことで、県コンテスト当日に当たるため、会長代理の森嘉雄顧問と共に、参加して参りました。ここに概要を報告いたします。

■ 議案1 役員改選

- ・ 新潟県は、現役員が引き続き次期も継続することが承認された。
副会長 小池純夫、本部役員 樋熊三津男、地区担当役員 嶋見靖之。

■ 議案2 今後の研究大会開催について

1 開催候補地

審議され、以下のような案で固まった。

- 平成27年度 第40回…東京
- 平成28年度 第41回…栃木
- 平成29年度 第42回…兵庫 ※ 栃木・兵庫は、順不同
- 平成30年度 第43回…三重
- 平成31年度 第44回…新潟
- 平成32年度 第45回…東京
- 平成33年度 第46回…沖縄
- 平成34年度 第47回…北海道

- 2 今後開催される地で、運営等にバックアップが必要な場合は、全日本役員が協力する。

■ 議案3 コンテスト参加要項の内容検討がされ、以下のことが決定された。

- 1 役員不足で、参加団体・個人から1人実行委員(役員)を務めてもらう。新潟県と同様。

※ 原則として終演まで務める。

2 ステージ料金の改訂

- 独奏 … 8000円
- 重奏 … 15000円
- 合奏 … 20名以下 … 25000円
- 30名以下 … 35000円
- 31名以上 … 40000円

3 楽器借用料金の改訂

- ・ チェンバロ … 3500円
- ・ ピアノ … 6000円



<函館駅前のLEDライトアップと森先輩>

■ 議案4 コンテスト会計

- ・ 昨年度開催した40周年記念事業への支出のため残額は0円。
そのため、全日本リコーダー研究大会開催地への補助は、しばらくできない。
- ・ 中学校のリコーダー副読本を発行していく予定。
- ・ チャリンジャー氏の作品特集の音源を発行する予定。全リコとして。
演奏はアッリエッポ・リコーダー・オーケストラが担当

■ その他

- ・ 今後の運営にかかわって、東京が主に担当してきている仕事は、地方の各役員にも割り振り、仕事を分担し合い、円滑な運営を図る。

【編集/樋熊】 「2015新潟クラシックストリート」に今年度も参加いたします。8人の会員と2人の助っ人で10人の合奏をします。「パシオン～恋する作曲家たち」がテーマです。5月5日(火)が本番です。聴きに来てくださるとメンバーも励みになります。宜しくお願いいたします。